

一般質問

川下
議員

○福島町行政について

質 福島町の歴史的人物に寺山団助公がいる。公は文武両道に優れた武将であつたが、主人の志佐純意によつて上意討ちに合い一族は滅亡している。公に関する資料は少ないが、その分研究と創造の余地がある。公について研究し、福島を売り出す素材として育てられないか市の考えをお聞きしたい。

文化財課長

寺山団助という人物に

関する資料では、昭和55年発行の福島町郷土史がありますが、関係する資料が少ない状況で、歴史的検証を行う必要があります。寺山団助は福島地域における松浦党の歴史を語る上で重要な人物であり、今後、松浦党の中で光を与えることができないか研究します。

質 前回6月議会にて住民の足の確保、つまり現在のバスの空白地の改善をメインとした交通網の整備の必要性を訴えた。地域公共交通網形成計画がどのようなもので、今後どのような取り組みをなされるのか。

企業立地課長

地域公共交通の現状

と課題を整理し、地域のニーズにあつた交通体系を図るため、今年度、松浦市地域公共交通網形成計画を策定します。今後、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえ分析を行い、将来の松浦市全体の公共交通のあり方、方向性についてお示します。

○市民の健康促進について

質 胃の中のピロリ菌の有無と、胃粘膜の萎縮度によつて将来胃がんへと進むリスクの度合いをはかる胃がんリスク検診が今年度より集団検診で受診可能となつた。初年度である今回、全対象者の内どれくらいの人を受診して、それぞれの結果の割合はどうだったか。

健康ほけん課長

1千114人の方が受

診し、集団検診の受診者の割合からすると、31パーセント程度の受診となつています。健康的な胃粘膜のA群以外のB群からD群は513人でした。**質** リスク度のあるB群からD群が多い結果をみれば実施を推進して良かったと思います。今後継続して実施するのかお尋ねします。

健康ほけん課長

胃がんリスク検診

については、胃がんの発症リスクを簡単な検査で知ることができると有効な手段であり、来年度以降も実施したい。

一般質問

安江
議員

○白浜五地区の太陽光発電事業について

質 現在までの経過を伺いたい。

政策企画課長

平成26年9月24日に

白浜五地区振興事業費補助金の交付を決定し、同日に白浜五地区太陽光発電事業実施に関する覚書の締結をいたしました。同年11月18日に工事契約が締結され、翌27年3月に工事が竣工し、同年3月27日より九州電力に売電を開始しています。

質 補助事業の実績報告と事業の収支はどうなっているか。

政策企画課長

平成27年4月14日に

実績報告が出され、事業の収支は当期純利益が31万4千963円となっています。

質 収益の使途について伺いたい。

政策企画課長

自治会活動支援の予

定と聞いています。**質** 白浜五地区258世帯で825万円の事業を行うのか。

政策企画課長

平成28年度の予算上、

五地区の事業計画に基づき実施されるようになっていきます。

質 売電額2千176万円が20年間に渡り

限られた地域に入るが、事業の収支を監督する仕組みはどうなっているか。

政策企画課長

覚書の中で、市は収

益の活用状況の報告を求めている。

必要に応じて指導、監督いたします。**質** 20年間には世代交代もあり、覚書通りには難しいと考えるが、市長の考えはどうか。

市長 透明性を確保するため法人化をしてもらっています。

質 覚書第5条には決算状況と収益状況について報告とあるが、議会には提出されるのか。

政策企画課長 一般財団法人に関することであり、提出は考えておりません。

○玄海原発再稼働について

質 九電は、玄海原発3、4号機を適合性審査後に再稼働を行うとして

いるが、市民の安全、市民の生活を最優先とするなら、再稼働は認めるべきでないと思うが、いかがか。

市長

国の審査、九電の事前説明をし

っかりと確認する必要があります。**質** 再稼働の判断は電気事業者が行つてよいという判断か。

市長

国あるいは電気事業者の次の

段階への手続きを注視したい。

質 住民説明会開催規模は、鷹島町と旧市内の二か所ではなく、細かく行うという考えはないか。

市長

説明会の場所としては、最低

限でも鷹島地域とその他の松浦地域で、開催して頂かなければならないとお願ひしています。

質

ゼリー状の安定ヨウ素剤の配備

についてはどうか。**防災課長** 鷹島地域の事前配布と市内の3歳未満児全員に配布するよう

考えています。